市立貝塚病院広報誌
Kaizuka City Hospital
Vol. 32
2021 5月

コスモスだより

【ニューストピックス】 消化器内科

潜在的肝炎患者を見逃すな！

【ニューストピックス】 出前講座をご活用ください！

【お知らせ】健診センター・人間ドックのマンモグラフィ検診に“高濃度乳房判定”を追加！
最新 Dual Energy CT 導入！
副院長就任のご挨拶
《地域連携ニュース》褥瘡外来（床ずれ外来）のご案内
令和２年度 紹介件数のご報告

病院の理念 基本方針

地域住民を守る良質な医療の提供

1．医療を通じ患者さんの歓びが自らの歓びになるような職業人をめざします。
2．常に技術の研鑽に努め、高度な医療の提供により、病気の早期発見・治療の充実をめざします。
3．患者さんの治療には、各々の職務を結集したチーム医療をめざします。
4．地域の医療機関と連携を密にし、信頼される中核病院として急性期医療をめざします。

消化器内科 潜在的肝炎患者を見逃すな！

当院は肝炎専門医療機関です

ウイルス性肝炎の専門的な診断・治療方針の決定・抗ウイルス療法が実施できる医療機関として、大阪府から指定されています。

病院では、入院や手術・各種検査などの前に血液検査が実施されます。こうした血液検査での、HBs 抗原・HCV 抗体検査は、B 型肝炎や C 型肝炎の可能性がある患者さんを拾い出す重要な情報源となります。

肝炎ウイルス陽性の患者さんを見逃すことなく消化器内科の受診へと繋げ、確定診断・早期発見・早期治療を行うためのに、当院が実施している取り組みをご紹介します。この取り組みについて、6 月日本肝臓学会での発表を予定しています。

■肝炎ウイルス陽性者を漏れなく消化器内科受診へ

何らかの症状を抱えて受診される場合、患者さまも病院スタッフも、その症状に対する検査や治療が最優先となります。そのため、肝炎ウイルス陽性の結果などが出ても、現在必要な治療に直接影響を及ぼさない場合は後回しになってしまう場合も …… そうした見逃しや先送りを防ぐため、肝炎受診を必要とする患者様であることを知らせる仕組みを作りました。また、この仕組みをしっかりと運用するには、まずは病院スタッフが担当診療科や部署に関わらず「肝炎受診」に目を向けることが必要であると考え、多くの職員が「肝炎コーディネーター」資格を取得しています。

1 電子カルテに「肝炎受診勧奨アラート」機能を導入

血液検査により、肝炎ウイルス検査陽性がでた患者さんには、電子カルテ上に「肝炎受診勧奨対象者です」と表示される肝炎受診勧奨アラート機能を導入。検査結果の見落としを防ぎます。

2 「消化器内科 GO TO カード」を使って医師に「肝炎受診勧奨」の意識喚起

外来では、外来前日に看護師が電子カルテをチェック。「肝炎受診勧奨アラート」が出ていれば、外来受診ファイルに「消化器内科 GO TO カード」を挟んでおきます。医師が診察時にこのカードを見て、患者様が「肝炎受診勧奨対象者」であることを確認できます。入院時も類似の方法で、担当医師に意識喚起します。

3 「消化器内科カード」を医師が確認 患者様に検査結果を説明し消化器内科を紹介

「肝炎受診勧奨アラート」が出ている患者様に検査結果をお伝えし、消化器内科受診の必要性をご説明します。患者様の承諾の後、消化器内科の受診予約を取ります。

「肝炎医療コーディネーター」資格取得

肝炎コーディネーターとは、肝炎医療が適切に促進されるよう、地域の中心となり調整（コーディネート）するために養成された人材です。

当院には 55 名在籍しており、大阪府下の病院で 2 番目に多い人数です。医師・看護師だけでなく、検査技師や事務員・MSW（医療ソーシャルワーカー）など幅広い職種で資格を取得しています。

肝炎医療コーディネーターの主な役割

① 未受診で感染に気づいていない人への受検勧奨
② 感染者を知っても治療していない人への受診勧奨
③ 治療予定者や治療中断者への受療継続支援
④ 仕事を継続しながらの治療の支援　　など

＊　＊　＊

当院で今、力を入れているのは、②の受診勧奨にあたる「肝炎ウイルス陽性者を拾い上げ、確実に専門医へつなぐこと」です。

また、受療を継続するための支援も重要な役割です。例えば、肝炎治療には高額な医療費が軽減できる肝炎治療助成制度があります。こうした助成制度の説明や申請のお手伝いをさせていただきます。就業と治療を両立される方には、職場の制度の確認や就業調整が必要な場合もあります。こうした様々なご相談に対する助言や相談窓口の案内を行います。

■肝炎ウイルス感染を放置せず早期治療を！

体内からウイルスを排除する 1 番の目的は、肝硬変や肝細胞がんになるリスクを下げることです。ウイルス性肝炎の治療法は大きく進歩し、早期の段階で発見して適切な治療を受ければ治すことが可能な病気になりつつあり、できる限り早期に治療を開始することが大切です。

肝炎ウイルス陽性がでたら

ただちに肝炎に詳しい肝臓専門医に相談し、ウイルス本体の有無や量を確認する血液検査（HBVDNA・HCVRNA）や、腹部エコー・CT などの精密検査を受け、肝臓の状態を確認してください。

HBs 抗原が陽性
B 型肝炎ウイルス（HBV）に
感染している
ことを意味します。

精密検査

HCV 抗体が陽性
C 型肝炎ウイルス（HCV）に
感染している可能性
があります。

精密検査
「ウイルス持続感染者」「感染して治った人（感染既往者）」のどちらかを判定。
感染既往者には、ウイルス排除の治療は必要ありません。

B 型肝炎ウイルスの治療

ウイルスの増殖を抑える「抗ウイルス薬治療」と、肝臓を保護して肝臓の機能を維持する「肝庇護療法」があります。抗ウイルス薬治療には、注射薬（インターフェロン）と飲み薬（核酸アナログ製剤）があります。

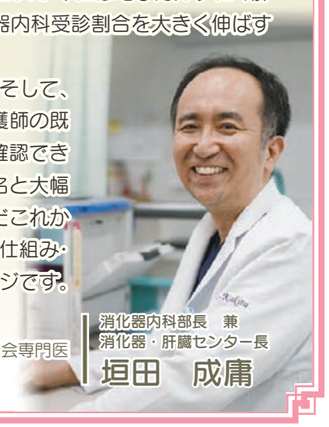
C 型肝炎ウイルスの治療

C 型肝炎治療の「抗ウイルス療法」は、C 型肝炎ウイルスを排除することを目的としています。最近ではインターフェロンを使わずに、飲み薬だけで治療を行うインターフェロンフリー治療を行います。治療期間も 2 ～ 3 か月と極めて短くなり、患者さんへの身体の負担も少なくなっています。

◆ 肝炎専門医療機関として、適切な医療を施す仕組み作りに試行錯誤を重ねる

大阪府は肝臓がん患者の多い地域で、2008 年から始まった大阪府がん対策推進計画の中でも、『肝炎肝がん対策の推進』が重点課題の 1 つになっています。肝炎ウイルス感染者を見逃さないため、当院でも 2018 年には電子カルテに「肝炎受診勧奨アラート」機能を付けました。しかしその後も、肝炎ウイルス陽性者の消化器内科受診割合を大きく伸ばすには至っていません。どの医療機関でも苦慮されているようです。

この状況を打開するためには、特定の部門や職員の負担とならない仕組みを作ること、そして、肝炎受診に対する職員の認識を高めることが重要だと考えました。今回の仕組みは、看護師の既存業務に「カードを挟む」という行為が加わるだけ。受診した診療科を問わず、医師が確認できます。肝炎医療コーディネーター資格も、多くの職員の賛同を得て昨年末 4 名から 55 名と大幅に増加しました。とは言えまだ新しい資格ですから、活用内容や方法についてはまだまだこれからなのが実情です。少しでも多くの肝炎ウイルス陽性者を適切な治療へと進めるために、《仕組み・知識・行動する意識》で結果につなげる……現状分析と試行錯誤を重ねながらのチャレンジです。



消化器内科部長　兼
消化器・肝臓センター長
垣田　成庸

資格
医学博士／日本内科学会認定内科医・総合内科専門医・指導医／日本肝臓学会専門医・指導医
日本消化器内視鏡学会専門医／日本消化管学会胃腸科認定医・専門医・指導医／日本消化器病学会専門医
日本がん治療認定医機構がん治療認定医／日本不整脈心電学会心電図検定 1 級　ほか

＝当院職員が地域に出向いて講習会＝

「出前講座」をご活用ください！

地域の方々に病気や災害時などの知識を広め、健康的に安心して生活できるよう、看護師ほか当院職員が出向いて「出前講座」を開催しています。

お馴染みの「乳がんキャラバン隊」は講座の内容が決まっていますが、「出張講座」では、参加メンバーの構成や講座開催時期などに合わせ、ご依頼元のご希望を伺いながら内容を決めることができます。「こんなことが知りたい！」のご要望にお応えしますので、是非ご活用ください。

出前講座の概要

無料

時　間	基本約１時間
内　容	ご相談のうえ決定
日　時	毎週月～金曜日（祝･休日は除く）10：00 ～ 16：00
人　数	10 人程度（少人数グループでも、お問い合わせください）
地　域	市立貝塚病院から車で片道 60 分以内の場所
申　込	HP から「出前講座申込書」をダウンロードし、必要事項を記入のうえ、下記 FAX 番号に送信してください。 ◎市立貝塚病院 地域医療連携室　FAX：072-438-5511

市立貝塚病院　出前講座　検索

問合せ　市立貝塚病院 地域医療連携室　☎ 072-422-5865

【実施日時・講義内容の決定】

FAX が届き次第、地域医療連携室から電話連絡いたします。

※日程の調整をお願いする場合があります。また、ご希望の講義内容に添えない場合があります。予めご了承ください。

【会場の準備について】

会場の準備等については、ご依頼元でお願いいたします。
必要物品については依頼時にご相談させていただきます。

＊営利・宗教・政治等を目的とした催しと一緒に実施する場合や、当院出前講座の目的に反すると病院が判断した場合はお断りします。

出前講座の実施例

◎ 貝塚市コスモスロータリークラブ　「大腸がん予防について」
◎ 府営貝塚 橋本第 2 住宅自治会　「AED の使い方」
◎ 浜手地区公民館　「緩和ケア・緩和ケア病棟について」
◎ 安心して老いるための会「誤嚥性肺炎の予防と対処法について」
◎ 貝塚市立 北小学校 PTA「非常時、災害時の応急対応」
◎ 橋本保育所「心肺蘇生法・プールや誤飲等の事故対応」
◎ 貝塚市障害児者施設連絡会 主任会「障害者施設においての感染防止対策」

「乳がん自己検診法の普及」

乳がんキャラバン隊

乳がんの早期発見の有効な手段の一つに、自己検診法があります。当院では、看護師を中心に『乳がんキャラバン隊』を結成。乳がん自己検診法の普及や、乳がんについての知識を広めるため、ご希望の場所に出向き講座を開いています。

【内　容】講義・実技演習・質疑応答
【その他】同左記

コロナ対策のお願い

会場の準備の際は、新型コロナウイルス感染症予防対策の徹底をよろしくお願い致します。

- アルコール消毒薬の準備
- ソーシャルディスタンスを確保できるゆとりある座席配置
- マスク着用の徹底
- 室内換気の確保　など

14 名の認定看護師が活躍中

認定看護師は、特定の看護分野での熟練した技術や知識を持つ看護師です。専門的看護ケアの実施のほか「専門看護外来」「看護相談」、職員への指導などを通して、看護の質の向上に努めています。
また「出前講座」でも、各分野の専門性を活かし講師を務めます。

緩和ケア認定看護師　がん看護専門看護師教育課程修了

がん治療を行うなかで日々の生活で感じる様々な問題や課題が最小限となり、病気と付き合いながら希望する生活が実現できるように支援します。

講義内容例
◎家族・大切な人ががんになった時に知っておきたいこと

がん性疼痛看護認定看護師

がんの痛みを緩和するため、薬の適切な使用や効果の評価を実施。薬の使用や副作用対策の指導など、その人らしい生活が送れるように支援します。

講義内容例
◎がんの痛みについて
◎医療用麻薬関する不安や疑問について

乳がん看護認定看護師

乳がん治療の意思決定のサポートや、術前術後のケア・リンパ浮腫予防のほか、ボディイメージ変容など身体的・心理的サポートを行います。

講義内容例
◎乳がん治療について
◎外見の変化へのサポートや就労、遺伝について

がん化学療法看護認定看護師

がん化学療法薬の安全な取り扱いと適切な投与管理のほか、副作用症状の緩和やセルフケア支援を行います。

講義内容例
◎味覚障害の食事内容の工夫
◎副作用症状が強い時の対処方法

手術看護認定看護師

手術や麻酔を受けることによる弊害を最小限にし、手術を受けられる患者さんが安全に手術を終えられるよう援助を行います。

講義内容例
◎手術ってなに？麻酔ってなに？
◎手術の後は痛い？腹腔鏡手術って？

救急看護認定看護師

救急医療現場や災害時での迅速で適切なトリアージと救命技術の実践。また、危機的状況にある患者･家族の心理問題の判断と支援を行います。

講義内容例
◎ AED などの心肺蘇生法
◎怪我、病気の応急処置について

皮膚･排泄ケア認定看護師

床ずれなどの創傷管理、ストーマや失禁などの排泄管理のほか、患者様やご家族に専門的なケアの提供・支援を行います。

講義内容例
◎床ずれ予防と発生した時の対処について
◎ストーマ・失禁のケアについて

糖尿病看護認定看護師

フットケアなどによる糖尿病合併症の予防、悪化の防止のほか、食事・運動・薬物療法などの生活調整全般にわたる療養支援を行います。

講義内容例
◎糖尿病発症予防について
◎フットケアの方法について

摂食･嚥下障害看護認定看護師

むせる方､低栄養の方の支援をします。安全な摂食･嚥下訓練を実施します。

講義内容例
◎誤嚥性肺炎について
◎食事介助が必要な方の介助方法
◎寝たきりの方の口腔ケアについて

認知症看護認定看護師

認知症の各期に応じた療養環境の調整や病院内のケア体制作り、また、認知症による行動心理症状の緩和・予防対策を行います。

講義内容例
◎認知症予防について
◎認知症の介護とコミュニケーション

感染管理認定看護師

院内の感染予防・管理プログラムを構築。医療関連感染の発生を監視し、病院に関わるすべての人を感染から守ります。

講義内容例
◎コロナウイルスの感染予防について
◎食中毒の予防について

慢性呼吸器疾患認定看護師

呼吸リハビリテーション、禁煙指導、急性増悪予防の自己管理についての支援を行います。また、在宅酸素導入患者の在宅訪問を行います。

講義内容例
◎在宅酸素導入の支援について
◎小中高生対象へのたばこの害について

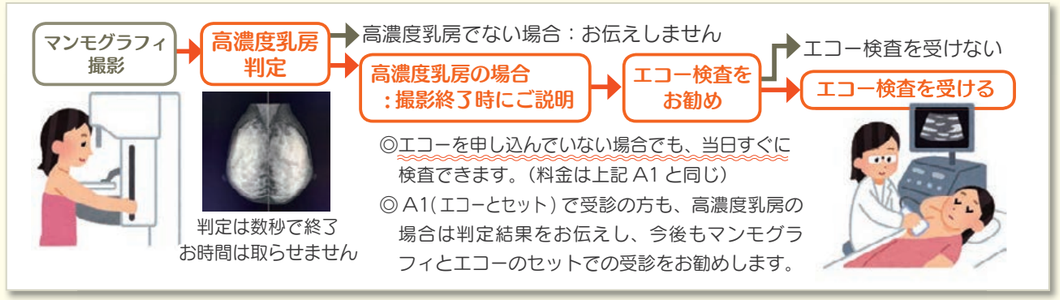
■健診センター・人間ドックのマンモグラフィ検診に、新サービス“高濃度乳房判定”を追加！

当院では、健診センター・人間ドックのマンモグラフィにおける検診内容を充実させるため、今話題になっている「高濃度乳房」か否かの判定サービスを始めました。料金は従来のままです。「エコーとマンモの両方受けた方が良いのかどうか分からなかったが、教えてもらって良かった」などの声をいただいています。人間ドックでの乳がん検診を是非ご検討ください。

乳がん高度検診・治療センター 技師長 **矢竹 秀稔**

《資格》検診マンモグラフィ撮影認定
診療放射線技師（A判定）

【検診センター・人間ドック　女性セット（乳がん）メニュー】			
A1	乳腺視触診・乳腺エコー検査・マンモグラフィ ＋高濃度乳房判定	40歳以上	10,000円
	《上記＋》トモシンセシス（3Dマンモグラフィ）撮影〔希望者〕		16,000円
A2	乳腺視触診・マンモグラフィ ＋高濃度乳房判定	40歳以上	6,000円
	《上記＋》トモシンセシス（3Dマンモグラフィ）撮影〔希望者〕		12,000円



「高濃度乳房」とは？

乳房は主に乳腺実質と脂肪組織から構成されており、その割合には個人差があります。乳腺実質の割合が脂肪よりも多い乳房（50% 以上）のことを「高濃度乳房」と言います。高濃度乳房は病気ではなく、一般的には加齢と共に脂肪の割合が多くなっていきます。

【乳房構成の分類】

		乳腺	脂肪
非高濃度乳房	① 脂肪性	少ない	多い
	② 乳腺散在		
高濃度乳房	③ 不均一高濃度		
	④ 極めて高濃度	多い	少ない

市民検診では、なぜ高濃度乳房でも教えてくれないの？

市民検診（対策型検診）は、地域住民や国民全体の乳がん死亡率を下げることが目的です。

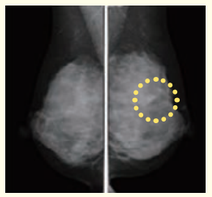
市民検診で乳房構成を受診者へ通知することは、乳がん関連学会では認められていません。その理由は、高濃度乳房の通知をしても、その補助検査を行うには施設が不足しているためです。さらに、マンモグラフィ検診では早期がんのサインとなる石灰化を見つけることが得意なので、集団の死亡率を下げることが証明されています（乳がん検診の第一選択肢）。一方、エコー検診は高濃度乳房のマンモグラフィで見落とす可能性の高い乳がん（腫瘤）を見つけることが得意ですが、その追加で集団の死亡率をさらに下げるとの証明がされていないためです。

「高濃度乳房」の場合はなぜ
マンモグラフィで乳がんを見つけにくいの？

マンモグラフィ画像では乳腺実質は白く、脂肪組織は黒く写し出されます。一方、乳がん（腫瘤）は白く写し出されます。

高濃度乳房

白く写る乳腺の割合が多い（50%以上）※日本人の 40%

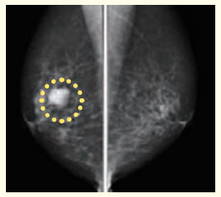


乳房全体が白いので、白く写る乳がん（腫瘤）が発見しにくい。

◎乳がん発見率 :33～69%

脂肪性乳房

黒く写る脂肪の割合が多い（90%以上）



乳房全体が黒いので、白く写る乳がん（腫瘤）が発見しやすい。

◎乳がん発見率 :90%以上

エコー検査の追加

乳腺の量が多い高濃度乳房でも、乳がん（腫瘤）を鮮明に描出する

⇒ 乳がんの見落としが減る

■最新 Dual Energy CT を導入！

当院では、CT 機器を更新し 3 月末から稼働しています。

2 種類の X 線（Dual Energy）を利用して画像化するこの最新 CT では、高画質・高精度な様々な画像を得ることができ、診断の迅速化や診断精度の向上につながることが期待されています。

また、超低線量での撮影が可能で撮影時の被ばく線量を低減するほか、造影剤使用量の低減･検査時間の短縮など、被験者に優しい検査ができます。

CT 検査のクオリティに直結する要因の 1 つは、患者様のポジショニング（位置決め）精度です。この最新 CT では、FAST 3D Camera が被験者の体形・位置・身長を 3 次元で捉え、最適なポジショニングを自動的に行うことができます。

（SIEMENS Healthineers CT 装置）

超低線量撮影 被曝量低減

Dual Energy CT 高精度・最新検査画像

■副院長就任のご挨拶

副院長・外科医師　**長谷川 順一**

本年 4 月 1 日付けで着任しました長谷川順一です。前任の大阪労災病院には 15 年間勤務しておりましたので久方ぶりの転勤となりました。

専門分野は下部消化管の外科です。これまで特に力を入れ取り組んできた領域は大腸癌に対する低侵襲治療・機能温存手術です。当院では各科メディカルスタッフの方々のお力添えを戴きながら、炎症性腸疾患・直腸脱を含む肛門疾患といった消化管と肛門領域の良性疾患の手術治療に関しても、積極的に対応できる体制を整えたいと考えております。

より一層信頼される魅力のある病院づくりをめざし邁進して参ります。泉州地区の先生方をはじめ市民の皆さま、ご指導とご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

医療従事者向け情報（地域連携ニュース）

■褥瘡外来（床ずれ外来）のご案内

当院では、1 月 5 日から『褥瘡外来』をスタート。褥瘡の治療や予防、ご家族や介護担当者への教育指導などを行っています。担当している在宅療養の患者様で、褥瘡にお困りの方、発生リスクが高く予防が必要な方がいらっしゃいましたら、是非ご相談ください。※受診希望の患者様は、かかりつけ医にまずはご相談ください。

【日　時】毎週火曜日　10：30 ～ 11：00 ／ 11：00 ～ 11：30
【場　所】2 階　皮膚科外来
【担　当】形成外科　部長 望月 祐一・医長 進藤 恵美
　　皮膚・排泄ケア認定看護師　高浦 聖乃（ケア相談・指導）
【予　約】HP から「診療情報提供書（褥瘡外来用）兼申込書」をダウンロードし、必要事項を記入のうえ下記 FAX 番号に送信してください。
　　◎市立貝塚病院 地域医療連携室　FAX：072-438-5511

市立貝塚病院　褥瘡外来　検索

■令和 2 年度 紹介件数のご報告

地域の医療機関の皆様から 1 年間で 7,134 件のご紹介をいただきました。ありがとうございました。地域の医療機関等と密な連携を図り、患者様にも医療機関の皆様にも、より信頼していただける市民病院となるよう努力してまいります。今後ともよろしくお願い申し上げます。

科別	件数
内科	672
消化器内科	1,055
神経内科	118
外科･消化器外科	198
乳腺外科	657
形成外科	313
整形外科	454

緩和ケア	171
小児科	312
皮膚科	252
泌尿器科	600
産婦人科	1,211
眼科	663
耳鼻咽喉科	11
放射線科	447